

|                        |   |         |   |
|------------------------|---|---------|---|
| 1. 科目名 (単位数)           | 法学概論 (2単位)  | 3. 科目番号 | GELA1337<br>GELA1116                                  |
| 2. 授業担当教員              | 酒井 明  |         |   |
| 4. 授業形態                | 講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション(学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等)を伴ったものにする。   | 5. 開講学期 | 秋期  |
| 6. 履修条件・他科目との関係        | この科目は法律全般に及ぶので憲法も一通り触れるが、できれば「法学(憲法)」の科目を学んだあとに履修が望ましい。   |         |   |
| 7. 講義概要                | <p>この講義は、憲法、民法、労働法等、各種の法に関する一般的な約束事や社会生活を送っていくために必要な基礎的な法の概略を学ぶものである。</p> <p>この講義では、法学をはじめて学ぶ学生を主たる対象に、法と社会、法の種類、法解釈等について学習するとともに、社会生活に関連する法律として、家族、財産に関する民法等の民事法の概略、犯罪に関する刑法等の刑事法の概略、労働法などの社会法の一部について学習する。この学習を通じて、法学的な思考法、いわゆるリーガルマインドを習得する。</p> <p>この講義は、法学を専門とするわけではない法学初学者を対象としていますが、学習範囲がかなり広いので、深く突っ込んだ議論を行うことは困難であるとともに、かなりのスピードで法律について学んで頂くことになり、また、事前・事後の学習をしっかりと行って頂く必要があります。また、比較的一方方向の講義になる可能性が高いことも留意して下さい。</p> |         |   |
| 8. 学習目標                | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法学的な思考法、いわゆるリーガルマインドを習得し、法学的に物事を考えることができるようになる。</li> <li>2. 教科書のポイントを理解し、説明できるようになる。</li> <li>3. 日々発生している日常的な法律問題について、条文や判例に基づいて問題を整理し、解決できるようになる。</li> <li>4. 民法や行政法が規制する内容を理解し、法律問題が生じないように行動することができるようになる。</li> <li>5. 公務員試験や各種国家試験の法律科目に対応できるようになる。</li> </ol>  |         |   |
| 9. アサインメント(宿題)及びレポート課題 | 数回、講義内容の中で重要なテーマにつき、1000字程度のレポートを課し、採点し返却する。事前・事後学習の提出についても採点・返却する。授業進行のなかで、90分以上をとり項目を選び、グループ学習を行う。  |         |   |
| 10. 教科書・参考書・教材         | 毎回、プリントを配布する。参考書：本沢一善「よくわかる法学要説」学文社2014   |         |   |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法      | <p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法学一般の基礎知識を理解し、説明できたか。</li> <li>・条文や判例の読み方を修得したか。</li> <li>・採用試験で出題される問題に対応しうる知識を身に付けたか。</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <p>授業への参加度(出席、発表、授業態度等)を30%、レポート、小テスト、期末テストなどの結果を70%とする。</p>   |         |   |
| 12. 受講生へのメッセージ         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前と事後の学習をし、疑問を次回に質問し、次回の予定の項目につき、一覧しておく。</li> <li>・授業態度の悪い学生(おしゃべり、授業をぬけ出る、教科書のわずれなど)はチェックし、評価にカウントする。</li> </ul>   |         |   |
| 13. オフィスアワー            | 授業前と授業後に行う。   |         |   |
| 14. 授業展開及び授業内容         |   |         |   |
| 講義日程                   | 授業内容  | 学習課題    |   |
| 第1回                    | 法律全般<br>a 法とは、b 種類  | 事前学習    | 「法とはなにか」の全体像を理解する。                                    |
|                        |   | 事後学習    | 法と道徳の違い、リーガルマインドとは何かを理解する                             |
| 第2回                    | 憲法1<br>a 憲法の歴史—外国、日本、<br>b 国民主権   | 事前学習    | 配布したプリントを熟読し、硬性憲法と軟性憲法を理解し、A4用紙にまとめる。                 |
|                        |   | 事後学習    | 配布したプリントにより「国民主権、象徴天皇制」を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。            |
| 第3回                    | 憲法2<br>a 基本的人権—自由権、社会権  | 事前学習    | 配布したプリントにより、基本的人権の全体像をつかみ、享有する主体、新しい人権を中心に、A4用紙にまとめる。 |
|                        |   | 事後学習    | 配布したプリントにより、社会権総論、生存権を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。              |
| 第4回                    | 憲法3<br>a 立法権—国会、b 行政権—内閣  | 事前学習    | 配布したプリントより、唯一の立法機関、内閣の組織を理解し、A4用紙にまとめる。               |
|                        |   | 事後学習    | 配布したプリントにより、二院制、総理大臣の権限、内閣の機能を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。      |
| 第5回                    | 憲法4<br>a 司法権—裁判所、b 財政、<br>c 地方自治  | 事前学習    | 配布したプリントにより、裁判所、地方公共団体の組織を熟読し、A4用紙にまとめる。              |
|                        |   | 事後学習    | 配布したプリントにより、司法権の限界、公金の支出、地方公共団体の機能を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。 |

|      |                             |      |   |
|------|-----------------------------|------|---|
| 第6回  | 民法1<br>a 行為能力、b 法律行為        | 事前学習 | 配布したプリントにより、) 自然人の権利能力、成年後見制度、法律行為を熟読し、A4用紙にまとめる。 |
|      |                             | 事後学習 | 配布したプリントにより、行為能力、代理、物権、債権を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。      |
| 第7回  | 民法2<br>a 親族、b 相続            | 事前学習 | 配布したプリントにより親族、婚姻と離婚、] 相を熟読し、A4用紙にまとめる。            |
|      |                             | 事後学習 | 配布したプリントにより親子、遺言と遺留分を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。           |
| 第8回  | 行政法1<br>a 行政の活動、b 組織、c 行政手続 | 事前学習 | 配布したプリントにより行政の組織、行政行為を熟読し、A4用紙にまとめる。              |
|      |                             | 事後学習 | 配布したプリントにより行政指導、行政強制を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。           |
| 第9回  | 行政法2<br>a 行政救済、b 地方行政       | 事前学習 | 配布したプリントにより審査請求など、] 地方自治体の組織を熟読し、A4用紙にまとめる。       |
|      |                             | 事後学習 | 配布したプリントにより] 国家補償、個人情報保護法を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。      |
| 第10回 | 刑法など1<br>a 刑法               | 事前学習 | 配布したプリントにより違法と犯罪防止、社会的処遇を熟読し、A4用紙にまとめる。           |
|      |                             | 事後学習 | 配布したプリントにより犯罪の成立要件を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。             |
| 第11回 | 刑法など2<br>a 少年法              | 事前学習 | 配布したプリントにより少年法の目的、対象となる少年を熟読し、A4用紙にまとめる。          |
|      |                             | 事後学習 | 配布したプリントにより家庭裁判所] を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。             |
| 第12回 | 労働法1                        | 事前学習 | . 配布したプリントにより、労働法の目的、労働契約を熟読し、A4用紙にまとめる。          |
|      |                             | 事後学習 | 配布したプリントにより、賃金、就業規則を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。            |
| 第13回 | 労働法2                        | 事前学習 | . 配布したプリントにより、労働組合、労働協約を熟読し、A4用紙にまとめる。            |
|      |                             | 事後学習 | . 配布したプリントにより、団体交渉、争議を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。          |
| 第14回 | 商法                          | 事前学習 | 配布したプリントにより、商法と商行為、営業譲渡を熟読し、A4用紙にまとめる。            |
|      |                             | 事後学習 | . 配布したプリントにより支配人、代理商など、商事契約を熟読し、A4用紙に記述し、提出する。    |
| 第15回 | 総合まとめ                       | 事前学習 | 大事だと思う項目を3つ選び、内容を手書でまとめる。                         |
|      |                             | 事後学習 | 総合まとめ   |
| 期末試験 |                             |      |   |